

ホワイトニングについて

ホワイトニングとは

ホワイトニングとは、飲食や喫煙などで着色した歯を削らずに色素沈着を漂白し、歯そのものの色を薬剤で化学的に白く改善する治療です。

歯が白くなる事で顔が明るくなり若々しくみえ、歯の表面の汚れも取れるため、口臭も軽減されます。

院内で行うオフィスホワイトニング

当院では、ポリリン酸と過酸化水素によるホワイトニング剤を併用するホワイトニングを行っています。ポリリン酸と過酸化水素によるホワイトニング剤を併用することで過酸化水素の濃度を薄めることができ、ポリリン酸のエナメル質を守る効能もあわせ、従来の過酸化水素の欠点のしみる、歯の表面のエナメル質を傷付けるなどのデメリットが改善され、より効果的で歯に優しいホワイトニングが可能となります。



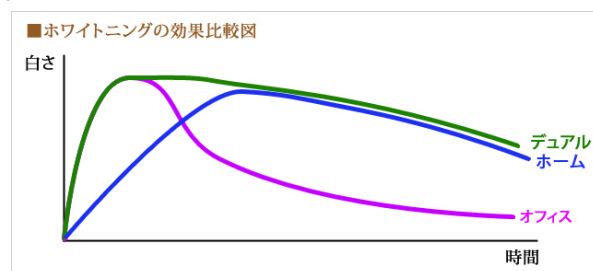
ポリリン酸とは

ポリリン酸はあらゆる生物の体の中にもともとある成分のため、安全性も確かなものとされています。

このポリリン酸は、人の細胞が持つ自己修復機能の一つを強力にサポートし、壊れにくくする作用があり、骨を含む歯周組織再生促進作用が認められています。特に分割ポリリン酸はステインの除去効果や沈着防止効果を持つと同時に歯周病菌やむし歯原因菌などに対する抗菌作用も併せ持つことから、口腔内環境を整える物質としてもあげられています。

自宅で行うホームホワイトニング

歯科医院で専用トレーを作り、自宅にて薬をトレーに注入し口腔内に装着する方法で、オフィスホワイトニングの効果を維持し白さが長持ちします。当院ではオフィスとホームを合わせたデュアルホワイトニングをおすすめしています。



必ずお読み下さい！

ホワイトニング適応外のケースについて

✦ 無カタラーゼ症の方

薬剤に含まれる過酸化水素を分解する酵素を持っていないため禁忌です。

✦ エナメル質形成不全・象牙質形成不全の方

歯の発達が十分でない場合、薬剤の影響で歯の神経である歯髄が痛みます。

✦ 入れ歯やさし歯、詰め物をされている方

歯が金属・プラスチック等の人工歯の場合白くなりません。詰め物も同様です。

ホワイトニング後に色味を合わせてやり直すことをおすすめします。

✦ 虫歯や重度歯周病の方

患部がしみたり症状を悪化させる原因になります。治療を終えてからの施術になります。

✦ 内因性変色などのある方

薬剤の副作用（テトラサイクリン系）、神経を抜いた歯、加齢による黄ばみには色調の変化が見られない場合があります。

✦ 妊娠中、授乳中の方

安全とはいえ薬剤を用いる施術法ですので、妊娠中のホワイトニングは避けるべきとされています。

ホワイトニングを始める前に注意すること

✦ ホワイトニングの効果については個人差があります。

✦ ホワイトニング前に、口腔内の検査が必要です。虫歯・歯周病や上記の適応外のケースが理由で、施術ができない場合があります。

✦ 施術の前には、薬剤の効果を十分に作用させる為歯のクリーニングが必要です。

✦ 治療中は知覚過敏が起こる場合があります。ホワイトニングの薬剤がエナメル質や象牙質の微細なヒビにしみることによるものですが、一過性のものです。ポリリン酸は極力しみにくい成分ですが、施術中にしみてくる場合はどうぞお知らせください。

✦ ホワイトニングにより白くなった歯は、そのままで一生維持できるものではありません。定期的なメンテナンスをすることで、長期的な維持が期待できます。

✦ 色の付きやすい食品、コーヒー・紅茶・赤ワイン・カレー等は後戻りを促進します。施術当日は色の濃い食品は控えるのが、無難です。

